

台本

ドスケベ落語2 ～珍々亭円光のパイ。パイ奇譚～

酒熊評議会／くもり遙

▼本編

//BGZ ジングル
//SE 拍手

やあやあじつめじつめ。珍々亭円光でござります。じつや、「ゆるっとお付き合いで
くださいませ。

お久しぶりの方もいらっしゃいますね。初めましての方は初めまして。軽く自己紹
介でも致しましょうか。

あたくしは珍々亭因法じんぱうの弟子にして、現役JK処女落語家の、珍々亭…おひと。
処女じやありませんね。「ないだ卒業したものですから。
前回お越しのみなさん、あたくしの処女のお味は、いかがでしたかね。

ふむ…いっぽい射精せきじょうた?

(演技あざとく)

いっぽい射精せきじょうたね、お兄ちゃん♡

ふむ…締まりがよかつた?

(演技あざとく)

もーお密さんつたらHッチハチ 締まりじゃなくて、オチでしょ

ふむ…師匠シフウがかわいかつた?

(演技袖そでにいる師匠に向かつて、素すで)

ですつて師匠。聞いてますー?

ふふ、照れてるアラレル

といつわけだ。

えー、非処女落語家の珍々亭…なんかしつくりきませんね。

ヤリマン落語家の……おつと、なんですかい？

一回やつただけでヤリマンを称するなんて、本物のヤリマンの方に失礼だ？

これは「**れは**」失礼致しました。

やれネット世代だ、やれグローバル社会だ、さして詳しく述べありませんが、あたくしも炎上ってのは怖いですからね。全国のヤリマンの皆様、大変申し訳ありませんでした。非処女を代表してお詫び申し上げます。

おほん。気を取り直しまして…

まんこ落語家の珍々亭…なに？ 下品すぎる？ もうとお茶の間に配慮した言葉遣いをしろ！

これは「**れは**」失礼致しました！

おまんこ落語家の珍々亭円光で「**じや**」あります！
本日もよろしくお願ひいたします！

/ / SEE 拍手

にしても着物つてのは暑いっ！**じや**りますな。壇上は日照りみて^えライトが当たるもんですから、じりじり暑くて。背中や腋の下なんか蒸れて仕方ないんですよ。いつそマイクロビキニでも着て一席打ぶちたいもんですね。

みなさんは見たいですか？ マイクロビキニ落語。

/ / SEE 歓声

もう、みなさんエッチなんだから♡

何色がいいですかね。王道の赤？ カワイイ系のピンク？ クールな青？

ふむふむ。あたくしは黒がいいと思うんですよ。大人の魅力たつ。ふりですよ♡

ふむ、肌色とな。お密さんつたらスケベですねえ。素っ裸に見えちゃうじゃないですか。

でもそれなら褐色もお勧めですよ。お日様輝く真夏のビーチで、褐色肌に褐色ビキニ…いいじゃありませんか。チヨコレーテみたいにペロペロしたくなりますよね。

そんなに見たいなら、今度着てきてあげましょうかね。

師匠が。

似合つと思ひますよ、褐色ビキニ

褐色つーか枯れ木色ですかね~。

師匠ー、お客様が師匠のマイクロビニール袋を、」所望ですょー

/ / SEE べしつ(扇子を投げる)

痛一つ！ 扇子を投げるなつ！

そんなに怒らなくていいじゃないですか！

何？ 今のは昨日の極太ディルド浣腸のぶん？

…あはは、その説は失礼しました。

…おひほん。

まあ、あたくしも着物脱いだら一般つぐで「やがりますすから、海苔みてえにパリつとした制服着てね、小学三年生の鉛筆みてーに短いスカート履いて、通学電車に乗つてるわけでござります。

例えに色気がない？

んじやーうつしましようか。

(演技: わざといひしお色気感)

ンあたくし、ン女子高生♡ なんですけどね♡

普段は着物脱いでえ♡ 制服♡ 着てるんですよお♡

ツヤツヤのボンテージみたいなセーラーとお♡ 股下五センチの超ミニスカートでえ

♡ おひぱいがボインボインで♡ お尻がぶりんぶりんでえ♡ 山手線一周する間に三十九痴漢されちゃうくらい、エシシソロイ体したってなんですよお♡

(演技: 素で)

虚しくなりません？

ちなみに脱いだらズゴコつてのはホントです。
すごいんですよ。

ライオンが子を突き落とす千尋の谷でござります。
つるつるです。とかかりゼロです。子ライオン、ぜんぜん昇つてこれません。
でもあたくしね、これまで何人も子ライオンを突き落としてきたんですよ。

(演技: 思いつきリメスガキになつてください)

雑魚♡ 雜魚♡ 雜あゝ魚♡

子ライオンおじさん足腰弱すぎへ~ パルパル震えて立てないの、なつせけな~

い、生まれたての子鹿未満♡

ちやーんと立てるより、鍛え直してあげるね♡

メスガキマライオンが♡

千尋の谷に♡

お・と・し・て・あげわやう、♡

赤ちゃんライオンからやりなおせ～♡

おひとい。

「」「、で野次が聞こえてきましたね。

なになに…

大人に向かつて赤ちゃんとは何事だ。メスガキわからせてやる、孕めオラ。ちよつと、前から言ひてますけど誹謗中傷はダメですよ。

そこにお立ちなさい。

…あらあら。

立てとは申しましたが…下の方まで立てるなんて申しあやしませんよ。

いけない赤ちゃんでちゅね～。

後で楽屋に来るよう!♡

メスガキマライオンが、狩りの仕方♡ 教えてあげまちやからね～♡ というわけでね、円光の奇妙な落語第一部の上演が決定致しました。演田? 決まりでるじゃないですか。

『援交潮流』で、やります。

「好評であれば続編が決まるかもしませんよ。

第三部『チンポ出すと奥えだーズ』

第四部『ガイアまん』はくばられない』

第五部『黄金の玉』

…欲張りすぎですかね?

来年のことばかり話してると、鬼に笑われるとはよく言います。身を引き締めていきたいもんですね。

とはいえるあたくしも芸人の端くれですから、ありがたいことに出くわすもんで、「ざじまし」。ありやあ学校帰りでしたかね、駅ナカの立ち食いそば屋で、独りずるやつやつてたと「うで」やります。

(演技:そばを食べる・フニラ音と似た感じですすつて頂きたいです)

ふー、ふー

ずのずのずのずのずのひ、ずのひのひのひ…

もぐもぐ
ふー、ふー

するするする
(演技:汁をする)

すすすすすす
ふはー

なんでしょうなー」の、
うますぎず不味すぎない加減つてのは。
そばの命たあ何で「ざじましようか。
「ふふ? 出汁? 香り?
はたまた、天ふらお揚げの類ですかね。
なんであれ、平均点があるとすると、
立ち食いそばってのは、百発百中でそこを狙い撃つてくるもんでござります。
コシなんて期待しちゃいけませんよ。下手したら歯あいりませんから。
処女ヒロインがよく言つじやないですか。

(演技:初めてフェラする処女ヒロインになつてください)
「あたし初めてだから……歯、当たつたら「めんね?」

ぜひとも氣をつけていただきたいですね。歯が当たつた瞬間ちぎれちまいますからね。

(演技:処女ヒロイン)

「わあ……かちかちだね♡」

嘘おつしゃい。ふにゃんですよ。

(演技:処女ヒロイン)

「お汁……すい〜べ〜濃いね……♡」

いえいえ、白湯と変わりませんよ。

(演技:処女ヒロイン)

「ふー、ふー…すい〜べ〜熱う〜♡」

当たり前ですよ。ぬるま湯みてーな一杯なんか出された日にや、あたくしでも怒ります。

まったくもう、処女ヒロインさんつたら氣を遣いすぎですよ。

(演技:処女ヒロイン)
「ちゃんとできるかわからないけど… いたします♡」

あいさつができる子はいい子ですよ。
それじゃあね、最初は先つぱだけ、ち

それじゃあね、最初は先っぽだけ、ちよびつとね。

プロの方ですか？

なんつって、「J-PO」遊びは大変楽しいもので「J-PO」いります。あたくしつたら、ひと田もはばからず一人遊びに興じるなんて、なんて恥知らず

おかげさまでやたらと視線を感じます。

特にお陽のおじわんかぐ

なんて思つてたら、とうとう話しかけられちゃいましてね。

おじさん「……ん? まさか……うん。やっぱりそうに違いねえ。お嬢さんもしかして、名前を珍々亭田光つづーんじゃないか」

円光「おやまあ奇遇な」と。あたくしを「存じで?」

おじさん「存じるも何も、俺あ円光さんのファンなんだよ。」ないだの見たよ、まん
汁怖い。若えのに大した肝の座りようだったよ。いやあ嬉しいねえ。そこのちり紙でい
いかーらサイン頂けねえかな」

円光「お安い御用ですよ…サラサラサラ～と。練習としていた甲斐がありました。上出来で」ぞこます」

おじやん「ありがとうよ。ありや、ちよひとはみ出しちゃめてるね。上出来と並んだ
が、もう少し練習が必要みたいだね」

円光「何をおつしやいます、完璧じゃありませんか。」のはみ出し興味が初々しいん
ですよ。だいたいね、初めてで上手すげたのもおかしな話ですよ。処女ヒロイン
の「ヒラジヤないんだから」

おじやん「うつや一本取られたね。」うつは財布にでもしまったくよ。」しても円光
さんは研究根心だね。おじさん「うつ見てて教師をやつてるんだけどね、最近の若
い子はめつきり研究つけてのをしなくなつた。夏休みの自由研究つたら、ネットで他
人に金払つてやらせといて、自分は浮いた時間で遊びまづける始末さ。賢いんだか何
なんだか」

円光「へえ、もつたいない子もいるもんですね。あたくしだつたらもつと賢くやりま
すよ」

おじやん「へえ、どうやるんだい」

円光「あたくし現役女子高生落語家で」やがこますからもちろん…
深夜に生声配信します」

おじやん「生声配信〜？」

円光「どのサムネがいちばん再生数稼げるかつてー研究ですよ。谷間出したやつが一
番でした」

おじやん「生々しいね。その歳で」の世の真理に感動してしまったの

円光「でもおじさんいうのが好きですよね」

おじやん「大好き♡ ついクリックしちゃう♡」

円光「動画ありますよ。」つかひです」

おじさん「なにな」…

【バイノーラル寿限無】深夜に現役JKがイチャイチャ落語しゃいます…

ちよいと田光さん、「れ本当に田光さんかい？」

田光「何をおひしゃいます。本物ですよ」

おじやく「だつてあんた何だい」れ…爆乳すきやしないかい？ 実物と全然違つじやなじか」

田光「ない胸は作れる！」

おじやく「あんた」れ偽乳^{レセチル}つてジベルじやないよ。あーあー、あれも」れも、「の動画も盛つて、あ…ちよいと田光さん、毎回乳の大きさが違つじやないか」

田光「研究ですかねえ。AからNまであります」

おじやく「Nいあんたバトモンじやないかい」

田光「ふせ」おじやくですか？」

おじやく「なんだい出し抜けに…まあつかつかつたらMだね」

田光「スマゾですか？ クソマゾですか？」

おじやく「ね、田光さん、それどう違つの〜？」

田光「クソマゾですね、かし」まつました。」注文以上でよろしげでしょつか」

おじやく「なんで店員？」

田光「オフン^ンお付けしますか？」

おじやく「せー、よくわからんないけど、どんなのがあんだい」

田光「アタックモード、スピードモード、カウンターモードが」「やります」

おじやく「じやカウンターモード」

円光「汚^けえないおじさん大好き～♡ 前髪すつかすか～♡ 口臭漂つてくゆ～♡ 会社の女性社員から嫌われてそろ～♡」

おじさん「なんだかよくわからないが…へへ、意外と悪くないもんだねえ。おじさんも円光ちゃんの」と好き♡ かわいい声で罵倒してちょーだい♡」「

円光「インポ♡ 五十肩♡ 生活習慣病♡ ゼロ趣味♡ ゼロ貯金♡」

おじさん「円光さん、もひとつおじさんが傷つかない方向でお願いね」「おじさん「何で知ってるの？ ちょっと怖いから、次の罵倒いこか」「

おじさん「お、いいね。性癖バカにされんの気持ちいい～」

円光「『つゝ痴漢』『つゝのぞき』『つゝ体育祭』『つゝダンス』

円光「短小包茎か～わ～い～い～♡ 学校ではいばり散らしてるくせに、脱いだら奥ゆかしいんだ♡」

おじさん「あ～いいね、すひ～く～いよ円光ちゃん。クソマゾおじさんぐつと来たよ」

円光「おじさんはまだつってそんなにクソマゾなの～？」

おじさん「それはね、おじさんにマゾを教えてくれた先生がいたからだよ。先生に教える先生、つまり教師を超えた教師。

調教師(超教師)…つてね。ガハハハ！」

円光「寒いんだよハゲ潰すぞ」

おじさん「カウンターつてつづつ」と～～」

円光「さて、お腹もいっぱいですから、そろそろお暇しますよつと。サイン大事にして

ぐださじね。オナティッシュ」しかやあいはませんよ」

おじやへ「やうりあ名案だけね、やうぱ額縁に入れて大事にしつくよ。今日はありがとよ。あ、ちよいと待つとくんな。えーと……一、二、三枚。へへ…袖を失礼つと」

円光「おやおや、いいんですか?」「んなにうぱじ賣つちやうじ」

おじやへ「罵倒代ひ」と「ことばれ」。それにあんた、自分の名前忘れちまつたのか?」

円光「なるほど、では高座名にあやかりまして、珍々亭円光が確かに頂戴致します」
おじやへ「こなしみつたれた立ち食いそばじゃなくつてよ、ソレ使つて、たまにはいそばでも食いな」

円光「ふうせうびますか。立ち食いそばで満足しちまうような舌ですから、あたくしどんどグルメ」は疎いんで「うれしくます。いそば屋つてのはどう見分けたらいいんでしょ?」

おじやへ「そりゃ簡単だ。暖簾を見りや一発だね」

円光「暖簾つてえと、ビリビリつてめぐると中が丸見えになる、あの暖簾ですか?」

おじやへ「ねうそつ、中から良い匂いがふわっと立ち」める、あの暖簾だよ」

円光「暖簾で見分けが付くつてのは、いつたいどういう意味ですかね?」

おじやへ「暖簾の汚え店」」そうまく。つてーのはね、その昔、飯屋にはおしづりで手拭くつ一つ習慣がなかつたんだ。代わりに何で拭いたかつてーと、暖簾だ。そば食つた客は、汚れた手を帰りがけにくぐる暖簾で拭いてつた。そうしていつぱいの客が拭つた暖簾は黒ずんでいく。よーく黒ずんだ暖簾を見りやあ、その店が繁盛してんのがわかるつて寸法さ」

円光「なるほど。帰りの夕涼みがら、汚え暖簾でも探してみましようかねえ」「

すいぶん長居しちまったようで、立ち食いそば屋を出りやあカラスもカーカー鳴いております。昼と夜のあわいの空ときたら、じつになつてももの悲しゅうござります。

あたくし、ついフラフラっと帰り道を逸れちまつたんです。その晩はどうにもセンチになつちまいましてね、あるいは魔が差した…とも。

夕の暮れから暗がりへ、月の明かりも未だなく、知らぬ存ぜぬ散歩道…

ふふ、逢魔が時とはよく言つたものですね。あちらこちらの物陰に、得体の知れねえもんが手をこまねいて潜んでる、なんて埒のねえ思い込みすらしちまつ始末。

おや。

「こいつはあたくしの勘違いか。

少し、体に異変を感じましたが…気にせず歩き続けます。

知つてゐるようで知らない道でした。小せえ頃に通つたかな？ つて気もしますが、団地も公園も見覚えがありません。

夕飯の匂いと、灯り始めた街明かりだけが、あたくしの記憶をちくちくと刺激するんです。

人が死んだらあの世に行くとは言いますが、誰もあの世を知りません。行つちまた奴は帰つてこないんですから。

あなた方はあの世に何を望みますか？

酒池肉林の宴？ 黄金財宝の山？ あるいは果てしない眠り？

悪くないでしよう。

悪くないでしようがね、母ちゃんの夕飯の匂い漂う天国つてのも、案外と悪くないかもされません。

つて待ちなさいよ。ここが天国つて何ですかい、あたくしは死んでしまつたってことですかね。

ちょっと神様へ、来世は東京のイケメン男子にしてくださいといつたじやありませんか。

せつかく生まれ変わるつて一なら、時を超えるラブストーリーの主役でも張つてみたいてもんですよ。

ドスケベ落語が映画になつたら監督はあの方でお願いします。チンパイ誠監督♡

おや。おや。おや。おや。

わいわあたぐしが体に感じた異変、勘違いで済ますにはちょっと無視できなくなつたまつました。

何やう揺れてるんですよ。

おひまじが？

だつたら嬉しい」と限りなし、ですが答えは否でござれました。

おでるおでる股間に手を伸ばします。

お…おお…！

(演技:君の名はの三葉が瀧^{たき}への体で田覚めたとき、股間にちんぽがついてるのに驚くシーンのパロお願いします)

なんや…ある…

そうです。なんやがあつたのです。

ボルンボルンと跳ね回る、凶悪な極太チンポ…！ ではなくですね、「ひ、ふるふる」としたかわいらしい…少年のよつな…

(演技:「の辺からだんだんシヨタの声になつてください」)

むずむずしますね。

少し触つてみましようか。

…ほ、ほう。

やわらかい…あれ…でもだんだん…かたく…
あ、やだ…立つてきた…

そんな…恥ずかしいよ…♡

ん、ん…♡ おひ♡ お、お♡ お~♡

いけない、人に見られたら…。

お、おさめないと。あれ、あれ？ やだ、立つちやう…
とりあえず物陰に…！

ふ、ふ…ひとまず安心ですが。

いついたいあたぐしの身になにが…ん?
あれ、そついえば声も、あー、あー。

あたぐしの声がボクの声になつてしまつました。
なんだか違和感がありますね。あー、あー。

とりあえずシヨタに『わせたい台詞』ランキング一位から三位まで録音してきました

ようか。

えー、第三位。

お姉ちゃん…ぼくのおちんちん、変になつちやつたよお…♡

第二位。

ちつ…兄さんはいつも「うだ。ろくに計画性もないくせに、他人のために後先も考
えず、首を突っ込んでは傷だらけになつてや…はあ。尻拭いをするボクの身にもなつ
てくれよ。

第一位。

んほおおおおおおお♡ ちんぽ、ちんぽ、ちんぽおおおお♡ ちんぽ出る… 5字
結腸ケツアクメで超新星爆発級のトロロトロンしちゃうのおおおおおおおおおおおお♡ イ
クイクイクイク出る出る出る出る、あ、あ、お、お♡ おおおおおおおお…
どぴゅつ、どぴゅつ、どぴゅつ、どぴゅつ…！

はい。

帰つたら「れでオナニーしましょつ。
しかし電波は圏外ですし、道もわかりません。

人つ子一人見当たりませんね。

おーい、おーい…

暗くなつて参りました。いかに珍々亭円光といえど、ひとりぼっちつてのは好みま
せん。寄席は一人じやあできませんから。

明るみを求めてふらふらとまよつて、いますと、

(演技:匂いを嗅ぐ)

すんすん、すんすん

…ほお

何やらいかがわしい匂いがしますね。

(演技:アニメ冰菓の千反田える(CV:佐藤聰美)に寄せてください)

なんぢょう。イカの匂いですか？ それとも栗の花ですか？
つていうがザーメンですよね？ どうして精液の匂いがするんですか？
中折れ木さん、わたし気になります！

(演技:元の女声の円光に戻つてください)
ついてとで調べてみましょつ。

あ、女声も出せるみたいです。さすがは声変わり前のショタ。
まあ、おちんちんが生えて低い声が出るようになった以外は、特に変わりないみたいですね。

幸い、胸が小さくなるなんて」ともなく。
ええ、これ以上小さくなるなんて」ともなく。

(演技にこやかに)

今笑ってるお客様、あとで楽屋に来るように♡

さて、匂いを辿つてたどり着きましたは、一軒のそば屋でございました。
ええ、そば屋です。

紺の暖簾にはっきりと「そば」と書いてあります。

よほど繁盛してゐんでしょ。湯呑湯呑暖簾です。

もつぺん鼻を鳴らしてみると、匂いはたしかにこの店から漏れてるんです。なんな

中からは何やら喘ぎ声が聞こえてきます。

「めんぐだきー」つけて引き戸をガラガラ開けてもよかつたんですが、開けた瞬

ハタチと食われかねおかでござる。見合ひのうがね。

『抜きそば』の登場人物・お姉さんが登場します。優しく暖かい癒やし系です)

お前が「おまえ、おまえ、おまえ」と、囁くのを聞くと、

食べてあげますからね♪

「するるー、ずぼつ、ずゆるるるるるるるー！」

(抜きそばの登場人物・ショタです。健気な受けです)

「お揚げの中の、ウズラの卵さん、いたたきます。」

お姉さん「ふふふつ♡」
お次はち・く・わ♡
僕くんの綺麗なピンクちくわ♡
ほんと
に綺麗な色ね♪

まずは箸でつまんで…くりくり♥ くりくり♥ うん、弾力も十分♥
それじゃ…いただきます♥

かわいいのね♥ はむはむ♥ かわい、かわいいのね♥ はむはむ♥
ん~♡ お~し~♡

あ、う、二つもあるのね、ぜいたくだわ
「いちもじただきます」ちゅる、ちゅるるるううう

き^心 食いしん坊お姉さんの、豊かに実りすぎただらしなおっぱいちょうどだい！ お
っぱい、おっぱい...♡

ちゅるちゅるしてもいい?」「つねつねもちもちのおうどんさんおっぱいだね♡

お姉さん「いいわよ～♥ 僕くんがおうどんおひまごちあるちあるしてる間、お姉さんが僕くつのおやぢぱい♪」してあげるからね～♥ しーじー、しーじー、しーじー、おやぢぱい、いっぱい～ねてあげた方が、コシが出来ますからね～♥ しーじー、しーじー、しーじー、あら～～♥ おそばからおダシが染み出でちゃったわ～♥ お姉さんのお手で、ぬるぬるいになっちゃう～♥

ああ♡ ああん♡ お姉さんのおうどんおひさま、ミルク染み出してきちゃう♡

ああん♡ ぽたぽた、ぽたぽたって♡ ああ♡ 「んに勢いよく♡ ぴゅー、ぴゅー
僕くわのおそばにかかるちやう♡ いうなつたらおそばにお姉さんのおうどん!!/
ルク、練り練りして練り込んであげちゃおうかしい♡ えい♡ てゆるてゆるてゆるの

シヨタ「あゝ　あゝ　あひりゝ　きもち、きもちいゝ　あ、あ、上がってきたよつゝ
熱くて濃ゆいおダシ、びくびくして、あゝ　あゝ　あゝ　おねえさへ、やまつゝ」

お姉さん「あらあら、お姉さんもうとおつくり味わいたいのに……」ショウガがないトド
でも僕くんがどつても美味しいから許しちゃう♥ 腹八分田♥ 「まちやつさまの力
ウントダウン、いきますからね～♥

シマタ「ひ、あ、あひっ！」、「んなんじやすぐにダッシュがしゃだよ」、「ちやうつさまで我慢できな、よおー、お姉、お姉、お姉……！」

お姉さん「ん~どうしたの僕くん~」「めんねえ~おそばと一緒に語彙力も食べちゃったみたい~お姉、じゃなくてミ、お姉さん、でしょお~」

シモタ|お姉さん...お姉さん...お姉さん...！ お姉...さん！ さん♡ さん♡ さ

お姉さん「ね、ひへり やひだんがくしゅーーー秒前に感じね 大丈夫 お姉さん
もすぐ」「かわいいわかなか、ひへりーーーへへへ じゅふり、すりやる……」
お姉さん「ね、ひへり やひだんがくしゅーーー秒前に感じね 大丈夫 お姉さん
もすぐ」「かわいいわかなか、ひへりーーーへへへ じゅふり、すりやる……」

お嬢ちゃん、さう、さう、うるさい。僕はこのまゝお出でにならぬで、熱くて、濃なくて、ねじれたり、ひきしりたり……」

シタ「おひおひお...♡ ふう...ふう...♡ はあ...きもか、よかたよお...♡」「

お姉さん「ふふふ、この辺はダン汁出せましたね♪」「ほしゃつて！」
めんなさ♪。うふふ、あんまりたくさん出しちゃうから、お姉さんも僕くんも、ダ
シ汁で真っ白になっちゃった♡」

シタ」して、そ」で拭いて帰るからや。そんじや、ありますか?」「うお姉さん!」

//SE 床とんとん(足音)

： 行きましたかね。

いやいやまあまあ、えっちですー」とー

珍々亭円光のちんちんも元気になつてしましました。

しつかしいことをそば屋と呼んでいいものでしようか？　だつてね、客がそばを食う

「してもうまことに頂いていたじやありませんか。あつあつのやばを、ふー、ふー……つて冷ましてから一気に

する所へ、する所へ、

いや、粹ですねえ！ 粹ってか……イキですね？

白い天かすに。ピンクのちくわ、お揚げにウズラにダシ汁も一級品ときました。あ

いいですねえ、あたくしもあんな風においしく食われてみたいもんです。ほんつ
とにかく頂かれちゃつてまあ！

(演技)のセリフは田光が先ほどのおねショタを面白がっているマネしている部分で
す

「あひ、きもち、きもちい、ああ、上かできたよ、」
って。ええ、ずいぶん敏感なおそばでしたねえ？

「おねえさま、そばにない？」

「いいで」「おそれれのカバンでタクンでしたねえ」
十つって、するるねるー。

— ፳፻፲፭ ዓ.ም. ከዚህ ሰዓት በፊት አንቀጽ አስተዳደር

まあ焦らすのなん、お姉さん、たらなかなか」「ちそうをまじでくれそばの少年つたらもうダシを出しどうて仕方ない様子で」さいました。

つってねえ！ かわいらしいのなんの。

「ちやうわまで我慢できなしじょおー！ お姉 お姉 お姉…！」
「ん~どうしたの僕くん♡ お姉、じゃなくてえ、お姉さん、でしょお♡」

「...」

ん？

お嬢さん、お嬢さん、お嬢さん。

十つって九つって八つってから、
お捕やうのやう、三かうの二、一かうの
ビタリあがむるるる

//SE 扇子を叩く(ポン)

一本取られましたね。

いくらダシが出そうだからって、土壇場でカウントダウンを誤魔化すたあ並大抵じゃありません。

アダムとイブがリンゴを食つたその日から、人類つてのは知恵とスケベを手に入れ
たんです。中でも、知恵とスケベを生業にまでしちまつたあたくしみたいな人種は、
一丁前の矜持があるんでござります。

負けちゃいられません。

「これはあたくしへの挑戦状ですよ」

(演技)徐々に女声からシヨタ声になつてください。「これからずっとシヨタです」おまんこ落語家改め、おちんぽ落語家の珍々亭円光、射精カウンタダウンを誤魔化してご覧に入れましょう。

扇子を開く(バツ)

円光「ごめんください！」

（抜きそばの登場人物・事務的お姉さんです。文字通り事務的に対応してください）
事務姉「いらっしゃいませ。」予約ですか？」

事務姉「すみません、現在はどのお姉さんもお腹いってます。ちょっと暖簾を下ろそうかと」「

円光「おや、それは残念です。あたくし……ンン?、ボクのおそばはかなりの大盛りですから、空腹のお姉さんじゃないとかわいそうです。出直してきます」

事務姉「…お待ちください。前回のお出汁はいつ」「お出しましたか？」

円光「えっと、…その…恥ずかしながら、今回が一番ダシです。初めてはやっぱり、優しいお姉さんにあげたいかなって。あはは、何言ってんだろボク」

事務姉「初物ですか……」くつ。なるほどでしたら、じつくりねつとり、一滴も余すところなく、頂かなくてはなりませんね。他のお姉さんはあいにく満腹ですが、私のお腹であればまだ余裕があります。よろしければ一番ダシ、私が頂きますよ」

円光「もちろん！ 実はボク、ひと目見て、お姉さんに食べてほしいなって思つてたんです。嬉しいな…♡」

事務姉「お上手ですね。私も嬉しいですよ。そちらのベッドで頂きます。少し冷えてきましたね。おそばが縮んでいませんか」

円光「大丈夫です。すぐチンするんで」

//SE 扇子を閉じる

事務姉「まあ、早い。それに完全に伸びきっています」

円光「はあ……はあ……♡ お、お姉さん……はやく……冷めちゃう前に……お願い♡」

くんくん くんくん

香りもなかなかですね。青々とした草原を思わせる匂いです。素晴らしい」

円光「はあ…はあ…♡ ボクの一番ダシ…早くお姉さんに飲ませてあげたいな…♡」

(演技事務姉はフエラガチ勢なので色々なフエラをやってあげてください)

口当たりはまるやか……塩加減も絶妙です。

円光「あ、あ、あ～♡ き、気持ちよすぎるよお♡ お姉さんの舌使いやばいよッ♡ 初めてのおそば、す～いっ、啜られてるうつづう♡

あ、あ♡ あああつ♡ … ちょ、お姐さん、あのつ、少し、優しく」

事務姉「じゅむねいしゅじー・ すりやつー・ すぱぱぱぱー・ じゅべりゅべりゅべー・」

田光「お姉さん、お姉さん！」やがて、それすぐダッシュで走り、ダッシュが止まらなかった。

ゆほじゆほじゆほー！ 大量すぎて…んぐ（ぶちあるるる）ー！」

事務姉「逃げてはいけません。れろれろれろ……
ぢゅぼぼぼぼぼつー

色々な喰り方を 試したいんです んぢゅー んぢゅー んぢゅー ジューホ じゅー
ぼ、じゅっぽー！

円光「んほお～～！ おそば啜られるの気持ちよすぎるのぉ～～～！ お口に入れ
たおそばをつ、出したり入れたりするのつ、マナー違反なのにつ、ンギモヂイイ
ツ！」

事務姉「んぐ～～～すばほほほほひー・じゅるぽひー・じゅるぽひー・ぐほぐほぐほ
つー・ふはー。」

事務姉「まだまだ井^{いん}は空きませんよ。横乳アヘ系ザーメン特盛り、チンピクマシマシカウパーカラメ。いたします。」「じゅうめんのうひー、じゅせんのうひー。」

事務姉「しかたないですね。よつ」「らセツクス」

田光「へへ、お姉ちゃん、えへ、どうしてボクの上に……へへ、あなた、めひて、トのお口はやが……あい——♡」

事務姉「……お口でも……いただきます……」
「ほおおおひ、ボクくんのおそば、
勢いよくすり込んで……おひ、ふふふ、絡みついでしよう。お姉さんのひだひ
だおロアワビで、むづくら、じゅくら、ねつとつ、噛んであげますからね……」

//BGM始 手を叩く(腰を打つ)

田光「うう、あつ、あつ もう、もう限界… カウントダウンッ お願いしますっ」

事務姉「なるほど、確かに井の底が見えてきましたね。ダシを満たしてあげなくては。では、カウントダウン、いきます。

円光「長じよ！ あ～もうダメです！」れやばいやばいやばい。お姉さひ、あうひ、お姉、お姉、お姉…せんひ…」

事務姉」なんですか？ カ...はむはむはむ...ちゅーちゅーちゅー！」

事務姉「さんさんさんさんうるさいですね。夏ですか？　冷やし中華始めますか？」

「……」

事務姉「ダシ汁ぶしゃーしてはいけませんよ。まだあなたというおそばを味わいつくしていませんから。あら、こんなと」「ひに活きのひしチャーシューが」

(演技 キスされる)

田光「ええ、うーん……。嘘うそ、でもないよ、そんなもん、わざわざおじいちゃんに、おねがいす、かね、じょせい、ごきげんめんねー。」

事務姉「んはあつ…ボクくんのチャーシューおこし…ずっと味わっていたい気分です。甘噛み、しちやいます…はむはむ、ちゅひ、はむひ、ちゅ。ふひ」

円光「ふはつ、お姉さん、あの……カウンントダウンは……？」

事務姉「忘れていました。えーっと、ああ、九十九」

// BGM 終 手を叩く(腰を打つ)

事務姉「あー、『おそさまのカウントダウンは失敗ですね。ダン汁、下のお口から零れちゃつてます。まだまだ頂きたい』と『ろでしたが…仕方ありません。デザートに致しましょう。よーし、セックス』」

円光「デザートつて、お姉さん……それ、どういう……」

事務姉「おそばの語源を知っていますか？」

円光「おそばの語源？」

事務姉「おそりうじバキュー。略しておそバ。じあるむるむるめのむるめのねー。」

事務姉「ふふ、バツキバキのボツキボキです。こんなに早くチンできるなんて、なかなかの口上をお持ちですね。それでは一杯目、頂きます」

円光「お、おあとがよろしくよつで…おつうつ」

// BGM ジングル
// SE 拍手

「ドスケベ落語2」珍々亭円光の「バイバイ奇譚」了